

こうげ 64 議会

2021.11

こころをもやせ!!
～しんよしばわ-2021～



▲新吉富保育所運動会

令和3年第3回定例会(9月議会)

会期: 令和3年9月7日(火)～17日(金)

クローズアップ! Close-up!

令和2年度 一般会計歳入歳出決算 南吉富放課後児童クラブ館新築工事費などの決算認定!	2
令和3年度 一般会計補正予算 1億3219万円追加可決! 災害復旧費、ふるさと応援基金積み立てなどの補正予算	4
委員会報告(文教厚生常任委員会・総務産業建設常任委員会・予算決算常任委員会)	5
議案議決結果及び議員別賛否一覧表	8
一般質問 ここが聞きたい! 5人登壇	10
報告 豊前市外二町清掃施設組合議会・吉富町外1町環境衛生事務組合議会	15
住民登場コーナー・議会傍聴のご案内・編集後記	16

住民登場 コーナー

友松 朝子さん(垂水)

4世帯家族の世話を一手にこなしながら野菜作りに励んでいます。野菜に「大きくな～れ」と呼びかける毎日です。

ひ孫、孫、子どもの4世帯の食事作りや洗濯、そしてひ孫の学童保育のお迎えが私の仕事です。その合間に朝夕2回、軽トラックで近くの畑に野菜を作りに行き『大きくな～れ』と呼びかけるのが日課です。

今年は、白菜、大根、じゃがいもを各200株、ネギやワケギその他多種を育て、道の駅に出荷したり漬物にしたりして楽しんでいます。

以前は、近くの友だちと誘い会ってカラオケに行くのが楽しみでしたが、みんな高齢になり一緒に遊べなくなり寂しくなりました。それでも時々、赤飯や山菜おこわを作りそれを持って遊びに行ったり、毎月第一土曜日開催の老人料理クラブに参加し、ワイワイと談笑しながら昼食を作り食べるのも楽しみのひとつです。



議会傍聴のご案内

12月定例会の予定

12月7日(火) 午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

12月9日(木) 午前10時
本会議(一般質問)

12月17日(金) 午前10時
本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を18席とすることや入場時の検温などにご理解ご協力をお願いします。

■開催場所 たいへいの里(大平支所)2F議場

編集後記

高西 正人

夏木マリさんから想う11月

みなさんは11月と聞いて何を思い出しますか？私は夏木マリさんの歌「novembre(11月)」(読み:ノブエンブレ)です。とてもいい歌です。夏木マリさんは、いい歌や朝ドラでのいい演技など、芸能活動を通して、途上国の子どもたちやその母親を10年以上に亘り支援し続けるなど、必要な方々に届く支援を長年されています。

第6波も危惧され、まだまだ収束の兆しが見えないコロナ禍の現状。ワクチン接種も3回目実施され、経口薬も処方されるようになりましたら、コロナウイルス感染対策も新たなステージへのレベルアップへと繋がるのでしょうか。

しかし、感染のため治療を必要とする方々、また、そこで治療のために働く方々、その治療を支えるために働く方々は、今後もずっとコロナウイルスとの闘いを余儀なくされることでしょう。もちろん医療だけでなく、様々な形で影響を受けた方々もいることでしょう。支援が必要な方々に届く支援を考える議会でありたいと思う11月です。

■議会広報特別委員会

委員長:三田 敏和 副委員長:岩花 寛之
委員:荒牧 弘敏、廣崎 誠治、田中 唯登志、友岡 みどり、高西 正人



令和2年度主な事業

(千円以下切捨て)

新型コロナウイルス感染症対応

11億3993万円

- 国の特別定額給付金(10万円)
- 町の緊急生活支援金(2万円)
- 携帯型空気清浄カード購入
- 大平楽などの冷暖房設備改修
- 感染症対策用マスク等購入
- 医療・社会福祉施設感染予防対策
- 公共施設空気清浄機設置

南吉富放課後児童クラブ館新築

2億6290万円

南吉富小学校区の児童数増加に伴い、放課後児童クラブ館を新築したことにより受入体制が整った



大池公園たまり場整備

2億3068万円

大池公園西側園路・たまり場の整備完了。アフターコロナでのイベントによる交流人口増が期待される。



成恒工業等用地造成

1億5819万円

企業誘致のため、成恒地区に新たな工業用地を造成。



牛頭天王公園トイレ工事

6659万円

憩いの場を楽しんでもらうため、過去からの課題であったトイレ改修工事。



小中学校タブレット等整備

6299万円

児童1人1台のタブレット及び家庭学習を行うための設備等ICT環境の充実を図る。



報告 (報告第8号)

令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

- 実質赤字比率なし
- 連結実質赤字比率なし
- 実質公債費比率 △2.6%
早期健全化基準の25%を下回っている。
- 将来負担比率なし
- 資金不足比率なし

令和2年度歳出決算

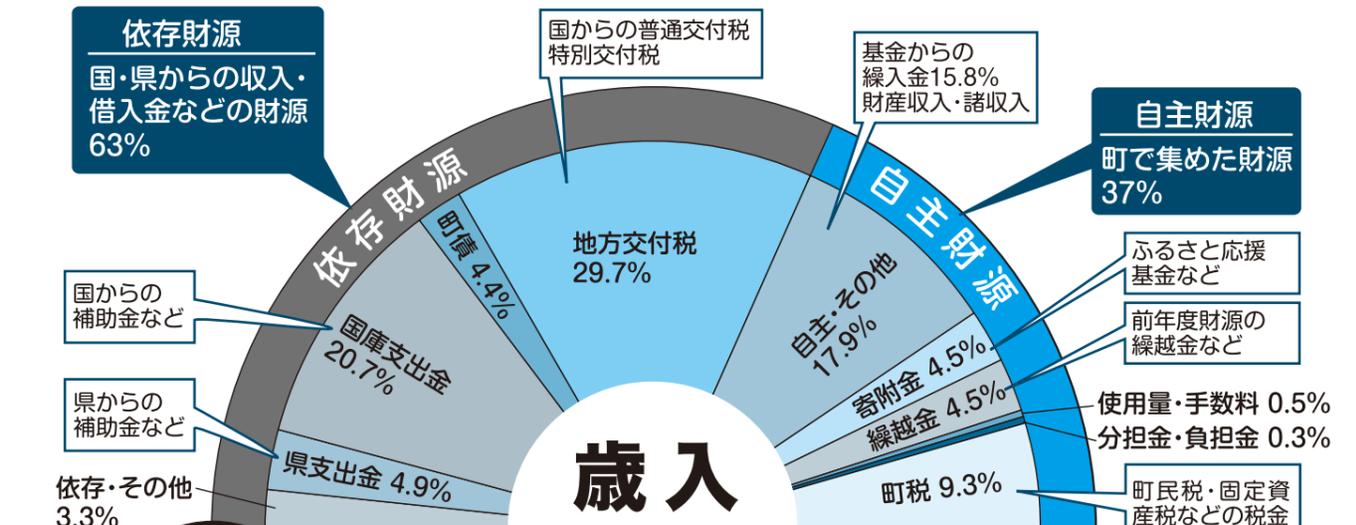
一般会計	73億8375万円
国民健康保険特別会計	8億4105万円
後期高齢者医療特別会計	1億3626万円
農業集落排水事業特別会計	6732万円
簡易水道事業特別会計	1億 436万円
奨学資金特別会計	1091万円
住宅新築資金等特別会計	4万円
工業等用地造成事業特別会計	1億5819万円
合計	87億192万円

財政指標は「健全」と判断

令和2年度決算
9月定例会

(千円以下切捨て)

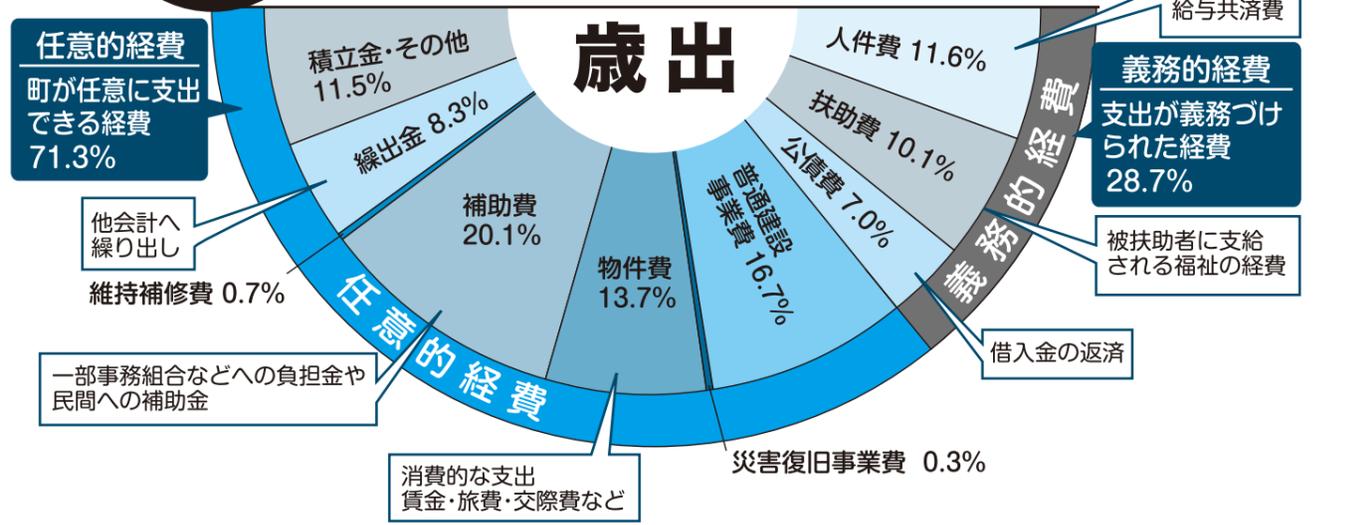
議会 「将来を見据えた財政運営の継続を」



一般会計

78億1717万円
73億8375万円

実質収支
3億8727万円の黒字



決算審査のポイント

- ①コロナ禍による歳入・歳出増の中で、令和2年度の一般会計及び7つの特別会計の決算は、歳入総額91億9680万円、歳出総額87億192万円、実質収支は4億4872万円の黒字である。
- ②人件費・公債費など必ず支払わなければならない経費について、用途が限定されていない財源に占める割合は、81.9%で0.3ポイント改善(合併当初98.4%)
- ③町税など標準的な収入が必要経費に占める指数は、0.28で依然として国・県に頼る財政運営であるが、ふるさと納税の増収、人件費・公債費などの抑制に努め、各種特定財源の有効活用が図られている。

財政運営は健全

8/9台風・8/11～12大雨災害復旧費など

一般会計補正予算 1億3219万円を可決

令和3年第3回定例会(9月議会)は9月7日(火)から17日(金)までの11日間の会期で開催され、町長提出の報告1件、決算認定8件、専決処分1件、条例案1件、補正予算3件、その他3件と議員提出の意見書案1件、陳情1件、を慎重に審議しました。結果は以下のとおりです。

〈承認〉 専決処分

一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染者が急増しており、ワクチン接種未完了の若い世代や家族内での感染増に対し、感染者早期発見、感染拡大防止対策を図るため抗原定性検査実施事業として検査キット購入費など350万円の補正予算の専決処分を承認した。

〈可決〉 補正予算 (議案第43号) (千円以下切捨て)

令和3年度上毛町一般会計補正予算(第5号)

主に8月9日台風・8月11日～12日大雨被害の災害復旧予算、山国川上唐原地区埋蔵文化財発掘事業、ふるさと応援基金積み立てなど1億3219万円を追加する補正予算を可決した。

■主な予算

総務費	築上東部乗合タクシー車両購入費	440万円
企画費	旧ふるさと手づくり村解体実施設計	471万円
	コモンパーク彩葉公園フェンス設置	180万円
農業費	園芸農業DX推進事業補助金	174万円
	農業土木事業補助金	110万円
教育費	山国川上唐原地区発掘調査 (山国川唐原地区防災ステーション事業に伴う)	6523万円
災害復旧費	農地や農林業施設、道路河川等災害復旧 (大雨災害の災害復旧28か所の工事費)	2224万円
諸支出金	ふるさと応援基金積立の追加 (今回の積立で1億6200万円になる)	1800万円



▲築上東部乗合タクシー



▲旧ふるさと手づくり村

〈可決〉 条例 (議案第42号)

上毛町企業誘致条例の一部を改正する条例

主に対象となる事業所に大規模小売店舗を追加(ドラッグストア・ホームセンター・スーパーなど)

文教厚生 常任委員会

4件の決算認定を審査

▼国民健康保険特別会計

決算認定(全会一致で認定)
 概要■令和2年度の歳入総額は8億8283万円(前年対比4.3%増)、歳出総額は8億4105万円(前年対比3.1%増)。被保険者数が34名減となっており、国保医療費の総額は約220万円の減額であるが、一人当たり医療費に換算すると41万円で約6000円増となっている。

■主な質疑

■**特定検診の受診目標60%に対し、42.9%となっているのはコロナの影響か。**
 答■コロナの影響もあるが、過去3年間県内で7位前後と高い状況にあり、今後も受診率向上事業などで目標に近づけていきたい。

▼後期高齢者医療特別会計

(全会一致で認定)

概要■令和2年度の歳入総額は1億4021万円(前年対比2.8%減)、歳出は1億3626万円(前年対比2.6%増)。

保険料は軽減特例の終了などにより8980万円(前年対比2.8%増)。一人当たり医療費は114万円で県下では33位。被保険者の高額医療費の動向に

▼奨学資金特別会計

(全会一致で認定)

概要■令和2年度の歳入は1284万円、歳出は1091万円。新規貸付6名・継続10名で貸付額は887万円。令和2年度は一括償還があったことや貸し付け人数が少なかったことから基金の繰り入れは行っていない。

▼住宅新築資金等特別会計

(全会一致で認定)

概要■貸付者は令和3年3月末現在で19人、滞納残高6233万円、令和2年度は54万円の納付があった。

■主な質疑

■**滞納元金の返済額は何人分か。**
 答■1名が一括償還を行っており、滞納者は19人になっている。
 ■**一般会計への移行の検討は。**
 答■令和4年度から一般会計に移行したい。

総務産業建設 常任委員会

決算認定、条例案、 予算案等計11件を審査

▼農業集落排水事業特別会計

(全会一致で認定)

概要■歳入6786万円に対し、歳出6732万円。令和2年度には新たに4戸

が接続され、264戸、703人の接続となっている。

■主な質疑

■**接続世帯数は、現在空き家になっている世帯数も含まれているか。**
 答■264戸は現在使用されている戸数で、空き家は含まれていない。
 ■**新たに加入した4戸の内容は。**
 答■上毛町在住の方の新築による加入が3戸、外部からの転入が1戸。

▼上毛町簡易水道事業特別会計

(認定第5号)

概要■歳入1億609万円に対し、歳出1億437万円。簡易水道事業は、京築地区水道企業団から1日当たり650トンを受水、緒方水源から1日当たり30トン、原井水源から1日当たり32トン取水し、令和3年3月末現在121戸に対して給水を行っている。

■主な質疑

■**使用水量と権利を持っている水量の差はどれくらいあるか。**
 答■責任水量が1日当たり800トンで、年間29万2千トンになり、実際に受け入れたのが、23万7千250トンで、差は5万4千750トンになる。

▼工業等用地造成事業特別会計

(賛成多数で認定)

概要■歳入総額は1億6835万円、歳出総額は1億5819万円で歳入歳出差引額は1016万円となっている。工事請負費は、1億4922万円を支出し

▼簡易水道事業特別会計

補正予算

概要■新たに加入する戸数が、当初予定していた加入戸数より3戸増加したことに伴い、公共施設設置工事費の不足が生じたため、工事請負費に10万円の追加補正。

▼農業集落排水事業特別会計

補正予算

概要■中村地区で、新築家屋に対して水道管を接続する必要が生じたため工事

請負費に600万円の追加補正を行う。
▼過疎地域持続的発展計画の策定

【全会一致で可決】

概要■過疎地域の持続的発展の支援に
関し、5か年の発展計画を策定する。

■主な質疑

●これまで計画と施策において過疎
地域が発展しているのか。

●豊後高田市から築上町までの定住自
立圏の自治体は全て人口が減っている
が、中津市の次に上毛町が減ってい
ない。まず人口減少を食い止め、人口が増
加するような事業も含め、行政だけでは
なく議員、町民みんなで事業を進めてい
く必要があると考える。

●国の補助金をもらうための計画
ではなく、行動と実績が伴う中身のある
計画でなければ意味がないと思うが。

●移住定住の促進や企業誘致などで人
口1万人構想に向け、実情を十分把握し
ながら過疎脱却に向けて努力してい
きたい。

●町内に高校がないことで通学の負担
が大きいことがネックになると考える
が対策は。

●電車通学の子どもたちへの補助、高速
バスの停留所の要望、学校の誘致など
を行いたい。

●小児救急医療

●中津市民病院との連携による小児救
急センターの負担金額は、また十分な受
入れ体制ができているか。

●負担金は94万円。以前は医師が少な
い中で対応し切れない部分があった。現
在は、かかりつけ医の紹介状が必要だ
が、救急の場合は受入れるようになって
いる。

【住民課所管分】

●ごみ・し尿処理

●ごみ収集を外部委託したことによる
効果は。

●経費の削減と職員の事務負担軽減に
つながっている。

●吉富町外1町環境衛生事務組合で
行っているし尿の共同処理について、
早く結論を出してほしいと思うが。

●処理費用が今よりも2千万円増える
ことを懸念している。町民負担が少し
でもなくなるように交渉を続けていき
たい。

【産業振興課所管分】

●農林業振興

●山間地を中心に鹿、イノシシの被害が
大きい対策の強化は。

●捕獲員の高齢化を懸念している。免許
更新の補助などのPRを行い捕獲員の
拡充に努めたい。

●1日4千円という有害鳥獣捕獲の報
酬も低いと思うが対策は。

●ハンター保険の補助も行っており、後
継者の育成に力を入れたい。

予算決算
常任委員会

令和2年度決算、
令和3年度補正予算を
審査

▼令和2年度一般会計決算認定

(認定第1号)

【賛成多数で可決】

概要■歳入78億1717万円、歳出7
3億8375万円。実質収支は3億87
27万円。

■歳出の主な質疑

【企画情報課所管分】

●大池公園イルミネーション

●点灯期間や来場人数等をどのように
評価しているか。

●期間全体で5千人程度の来場があり、
交流人口の増加に寄与したと評価して
いる。

●イルミネーションだけではなく、四季
を通じて花や紅葉などをSNSで広報
してはどうか。

●SNSを利用し、散歩などの利用促進
につながる情報発信に努める。

●国・県の補助だけではなく、町独自の
補助の上乗せなどの検討は。

●高齢化とともに鳥獣被害の原因と
なっている林業の衰退にも対策を行
いたい。

【建設課所管分】

●生活排水

●浄化槽の普及状況は。

●61.3%となっている。

●環境整備(道路愛護)

●報償費の算定方法は。

●自治会に加入している世帯数に応じ
て交付している。

●中山間地は世帯数が減っており負担
が増している。算定方法の変更はでき
ないか。

●自治会には強制ではなく、できる範囲
での協力をお願いしている。高齢化など
により困難な箇所については、県土整備
事務所への依頼や町での対応を含め、何
らかの形で補っていく方向で考えてい
る。

●災害復旧

●農地災害において所有者と耕作者
の費用負担の問題から復旧が進まない
ケースが多くなると考えるが行政とし
ての対応は。

●農地災害復旧は分担金を支払う条件
で行っている。地権者と耕作者双方にお
願いしながら整備を進めている。

●総務課所管分

●消防設備

●消火器を60台入れ替えているが、消



【税務課所管分】

●ふるさと納税

●令和2年度は当初予算よりかなり寄
附額が増したが、特産品の開発につ
いて、どのような努力が結果につなが
ったと考えるか。

●町やまやと共同開発した、もつ鍋の人
気で寄附額が増加した。経費や配送料
の精査を行ったほか、販売サイトも魅
せ方を工夫した結果と考えている。

●地場産品などの売れ行きは。

●令和2年度の寄附金のうち、福岡県指
定品が3億円、町の地場産品が5千万
円であった。

【長寿福祉課所管分】

●介護予防・高齢者支援

●これまでフレイル対策として様々な

●火器の設置状況を把握しているか。

●交換は自治会長を通じて行っており、
その際に地区の配置場所などを共有し
ている。

●廃棄する消火器を地域の防災訓練に
活用できないか。

●期限前であれば使うことは可能であ
る。地区で消化訓練の要望などあれば活
用してもらいたい。



【教務課所管分】

●小学校・中学校

●いじめに対する相談件数は。

●教育委員会としては学校からの報告
書などで把握している。重大な案件など
については発生していない。

●早期発見についての取組は。

●各学校で毎月いじめアンケートを
行っている。個別教育相談を行う他、学
期に1回程度、全児童生徒に向けて個別

施策をしていたが、コロナ禍での状況
は。

●上毛いきいき塾などは新型コロナの
影響で中止となった。フレイルサポー
ター連絡会の体制づくりのみを行って
いる。

●買物困難者の支援事業についての見
通しは。

●移動販売や宅配事業はコロナ禍でも
実施できており少しずつ増えている。移
動販売事業は、約2450人、宅配サー
ビスが約240件。買物バスツアーは2
回の開催に終わった。コロナが落ち着
けば増加してくると考える。

【子ども未来課所管分】

●赤ちゃん祝金

●令和2年度の実績は。

●第1子が11人、第2子が16人、第
3子が以降が18人となっている。

●南吉富放課後児童クラブ館

●現在、屋上上がる階段や滑り台が
使用できなくなっている理由は。

●事故防止のために通常は使用してな
い。子どもの安全上、支援員の目が届く
範囲での使用としている。

●屋根の芝が枯れているが、今後の対
応は。

●芝の生育が不十分で一部枯れている
ため、張り替えを行う。

●原因が究明されないと再発の可能
性があるのでは。

●専門業者と十分検討した工法で施工
しており、対応できると考えている。

●教育相談を行っている。また、担任や
養護教諭が子どもたちの様子を把握し、
職員間で共有することで早期発見につ
ながっている。

●一人1台端末が配布されたが、感染症
や災害で全校がオンラインになったとき
にも対応ができる回線になっているか。

●接続テストを現在行っている。全校が
一斉にオンライン活用した場合に接続
状況に不具合が生じた場合は改良の必
要があると考えている。

●貸出し用のWi-Fiルーターの個数
は十分か。

●貸出し希望台数は21台であり十分
足りる。

●新体育館

●体育館建設アドバイザーにはどのよ
うな助言を受けたか。

●大学教授2名からトレーニンググル
ムやカフェの壁の仕様、アーリーナの遮光
などについての助言を受けた。

●歳入の主な質疑

●基金を国債などで30億円運用して
いるが、運用状況は。

●国債は20年もので対応している。利
率は一番低いもので地方債で0.1
8%、一番高いもので0.639%と幅
がある。令和2年度については、購入分
が3億円、売却が8億円となっている。

●将来的に株などリターンが大きいも
のに挑戦する考えは。

●効率的かつ安全な運用という形を考
えており、株での運用は考えていない。



映像配信の注意事項

- ・配信している映像の著作権は、当町議会に帰属します。そのため、配信された映像、画面あるいは内容を無断で複製、改変したり、他のウェブサイトや著作物等へ転載することを禁止します。
 - ・配信された映像は、当町議会の正式な記録ではありません。本会議の公式な記録は、本会議録(文字)をご覧ください。
 - ・YouTube(ユーチューブ)は民間の動画配信サービスであり、いかなる場合でも当町議会は、利用者がYouTube(ユーチューブ)にアクセスしたために被った損害、損失に対して、一切の責任を負いません。
- 各QRコードを読み取ることで、一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
なお、お使いの環境によっては、QRコードが正しく読み取れない場合があります。

宮本 理一郎 議員

積極的な企業誘致活動の展開は

熊谷開発交流推進課長

都市圏からの誘致などを進めたい



動画へGO!



※令和3年1月1日現在(前年比)

人口の増減	
県内増加自治体	1位 福岡市
	2位 福津市
	3位 大野城市
	4位 糸島市
	5位 筑紫野市
県内減少自治体	1位 北九州市
	2位 大牟田市
	3位 八女市
	4位 田川市
	5位 嘉麻市

※令和3年1月1日現在(平成30年比)

人口の状況	
(福岡県)	512万4259人 △5582人 △0.11%
(上毛町)	7577人 △160人 △2.11%
*旧新吉:4158人 *旧大平:3419人	
(転入)平成30年:294人	
令和元年:285人	
令和2年:259人	
(転出)平成30年:286人	
令和元年:241人	
令和2年:233人	
※3年間で78人増	

2040年人口 一万人構想の 進捗は

圏内自治体における人口変動ならびに本町の直近3年間の転入・転出を含めた人口動向は、**円入住民課長** 本町では、直近3年間で転入が転出を超え78人増となっており、様々な施策の効果が表れつつあると分析している。

一般的には、地域の人口減少が広く叫ばれているが、現実的にはデータから判断すればそれほどでもないということが、**円入課長** 3年間で、社会増減が増加しており、かなり大きい効果であると判断している。

円過疎化、高齢化の進む中山間地域での人口減少に対応した効果的な施策の推進は。

垂水(英)企画情報課長 中山間地域と他地域との格差が生じつつある点で非常に危惧している。重要施策の提案、検討、検証見直しを行い、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における有識者会議において意見を参考に推進に努めている。

生活基盤の整備、定住環境の創出・均衡ある発展のもと、魅力ある地域の特性を生かした持続可能な地域づくりが重要では。

垂水(英)課長 新規分譲地の確保など定住環境の創出のための可能な地域づくりでは、環境負荷が少なく、人間と自然の共生により、地域住民が主体となった継続的で無理のない生活が確保された環境づくりが重要であると考えている。

中山間地域の過疎化・高齢化に伴い、耕作放棄地や山林の荒廃が懸念される。農地や山林の保全は災害防止の点からでも対策が急務では。



第3回定例会一般質問(9月9日(木)・10日(金))

田中 唯登志 議員

一般廃棄物最終処分場の今後は

円入住民課長

利用計画は管理終了後に行う



動画へGO!

豊前市外2町清掃組合の一般廃棄物最終処分場の受入可能な時期は。

円入住民課長 清掃施設組合の8月25日の会議によると、令和4年1月末までという事ですが、正確な時期については、最終築堤(約1m)後に測量して決定する。

円埋め立て容量と残余容量は。

円入課長 最終処分場の許容量は4万6千m³で、令和2年度末での残余容量は2千m³で4.3%ということになる。

円最終処分場を終了するにあたり必要な手続きは。

円入課長 埋立て処分場の終了届書を県知事に提出する。提出後に浸

出水や発生ガスの検査と管理を2年以上行い、一般土壌と大差がないと判断されれば、管理の必要がなくなる。

円生活環境の保全を踏まえた管理型最終処分場の廃止基準は。

円入課長 ①保有水などが排水基準などを満たしている。②埋立て地からガスの発生がほとんど認められないこと、または、ガスの発生量の増加が2年以上にわたり認められないこと。③埋立て地内部が周辺の地中温度と比較して異様な温度になっていないことなどが規定されている。

円終了後の利用計画は。

円入課長 設立当初の整備計画



埋立完了が間近となっている下唐原地区の最終処分場

では、跡地を公園として利用することになっていたが、決定事項ではない。

円廃止についての地元説明は。

円入課長 組合事務局によると、跡地利用が決定してからになる。また、地元から要望があれば答えたい。

円廃止後の管理体制は。

円入課長 閉鎖後の管理を2年間以上行い、跡地利用の協議が終わらないと決まらない。

築上東部火葬場について

円過去3年間の維持管理費は。

円入課長 平成30年119.6万円、令和元年104.9万円、令和2年111.0万円で、平均118万円になる。

円施設組合の現在の動向は。

円入課長 長寿命化計画の中で、何年か先、改修計画が上がっている。

坪根町長 環境衛生組合の中で十分協議していかなければならない。また、し尿処理の問題と一緒に今後どう進めていくか早急に協議していきたい。

垂水(勇)産業振興課長 中山間地域の荒廃農地の発生を防止する取組みは「中山間地域等直接支払交付金事業」を活用して町内9地区(農地面積57.5ha)で農地や農道などの適切な維持管理に努めている。山林は、平成29年度から「荒廃森林再生事業」及び「荒廃森林整備事業」に取組み、13年間で約240haの間伐などを行うことにより森林の再生や荒廃の未然防止に努めている。

円国は、ポストコロナ社会に向けた地方回帰の支援をしている。テレワークの推進拡大による企業の地方移転は。

熊谷開発交流推進課長 国は、関係府省の連携のもとでテレワークを実施しており、具体的には在宅勤務、モバイル勤務そしてサテライトオフィス勤務という形がある。企業の地方移転という点では、サテライトオフィス勤務が最も適しており、旧大平麦酒館が活用できると検討している。都市圏からの企業誘致を含めて、造成の完了した成恒工業団地への誘致活動を積極的に展開している。

自然災害における 防災・減災の 有効性は

円自然災害は、半分以上が人災と

言われる。人の管理監督が行き届かない時に、大雨や台風の襲来が人の命を危険にさらすという側面がある。山林や農地などの開発行為の実態の把握は。

垂水(勇)課長 山林を伐採して開発行為を行う場合、1ha以上は県に対して林地開発許可の申請が必要である。農地については、農業委員会が申請を受け付けており、1haを超えた農地転用の申請は、令和元年度に、太陽光パネルを設置した開発行為が2件ある。許可にあたっては、災害等の防止策などの要件がある。危険地域には、台風や大雨などの際に必ず見守りを行い、災害の未然防止に努めている。

円入課長 「上毛町土砂等の堆積の規制に関する条例」により500m³以上3,000m³未満の面積の土地に土砂などの堆積を行う場合、計画を定めて町長の許可が必要であるが、現在、許可した土地はない。

垂水(英)課長 本町での準都市計画区域内における3000m³以上、区域外における10000m³以上の土地での建築などを目的とした開発行為についての許可申請は、町が窓口となる。町の意見書を添えて許認可権限を持つ県に提出するが、過去10年で、3件の届出があった。また、岩石採取の許可申請についても同様に町の意見書を添えて県に提出することになっている。

豊前市外二町清掃施設組合議会報告

令和3年第3回定例会(令和3年8月25日)

豊前市外二町清掃事務組合議会では、「豊前外二町清掃センター」の運営について審議しています。なお、上毛町は、施設の運営のために年間約7000万円を負担しています。(3市町合計:3億2100万円) 今回の組合議会定例会では、令和2年度の決算認定と令和3年度の補正予算などの審議が行われました。令和2年度は、コロナ禍により家庭ごみやペットボトルの増加がみられました。また、近年プラスチックごみの増加傾向が続いており、焼却炉の維持の為に分別処理の推進が重要となっています。

令和2年度 一般会計歳入歳出決算認定 (全会一致で可決) (千円以下切捨て)

歳入総額 5億185万円 (前年対比 94.37%)		歳出総額 4億7571万円 (前年対比 93.98%)	
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	3億2100万円 (上毛町6924万円)	議会費	60万円 (組合議会費)
使用料及び手数料	9601万円 (廃棄物処理手数料など)	総務費	765万円 (職員手当など)
財産収入	1913万円 (資源物売却収入など)	衛生費:人件費	1億1881万円 (人件費など)
繰入金	3800万円 (財政調整基金繰入)	衛生費:ごみ処理費	2億4631万円 (光熱費・委託費・工事費など)
繰越金	2558万円 (令和元年度繰越金)	公債費	1億 232万円 (建設債務返済元金など)

◎年度別ごみ量の推移 (単位:t)

区分	令和元年度			令和2年度	
	平成30年度	ごみ量	前年対比	ごみ量	前年対比
上毛町	1938	1969	101.6%	2001	101.6%
豊前市	6121	6128	100.1%	6091	99.4%
吉富町	1603	1680	104.8%	1683	100.1%
合計	9662	9777	101.9%	9775	99.9%

吉富町外1町環境衛生事務組合議会報告

令和3年第2回定例会(令和3年8月25日)

吉富町外1町環境衛生事務組合議会では、「周防苑」(し尿処理施設)と「築上東部火葬場」の運営について審議しています。なお、上毛町は、施設の運営のために年間約4000万円を負担しています。(2町合計:7418万円) 今回の組合議会定例会では、令和2年度の決算認定と補正予算、専決処分の承認を審議しました。「周防苑」は建設から約50年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、豊前市との共同処理を検討しており、処理費用の問題など慎重に協議を行っています。

令和2年度 一般会計歳入歳出決算認定 (全会一致で可決) (千円以下切捨て)

歳入総額 8456万円 (前年対比100.6%)		歳出総額 7938万円 (前年対比 100.9%)	
◎ 主な歳入		◎ 主な歳出	
分担金及び負担金	7418万円 (上毛町3889万円)	議会費	42万円 (組合議会費)
使用料及び手数料	469万円 (火葬場使用料・し尿処理場使用料)	総務管理費	2682万円 (職員手当など)
財産収入	19万円 (基金利子など)	し尿処理場管理費	4115万円 (人件費など)
繰越金	542万円 (令和元年度繰越金)	火葬場管理費	1110万円 (光熱費・委託費・工事費など)
諸収入	6万円 (預金利子など)		

◎令和2年度実績(火葬場は、構成2町のみの実績を掲載)

区分	し尿処理施設 (単位:kl)				前年対比	火葬場
	し尿	浄化槽汚泥	農業集落汚泥	処理量合計		
上毛町	2658	3224	406	6380	+5.4%	83体
吉富町	2229	1345	0	3574	△5.5%	67体
合計	4887	4569	498	9954	+1.2%	150体

茂呂 孝志 議員

イオニアカードのイオン発生は

永野総務課長

町はイオン発生を確認した



動画へGO!



町は今年の6月定例会で、「イオニアカード」の購入は、購入起案文書を作成した令和2年9月28日以前に報告し、決裁をいただいていると答弁している。専決処分の決裁は、いつ、誰から、どのような方法で決裁を受けたのか。永野総務課長 令和2年9月28日付で総務課財政係長より、携帯型空気清浄カールド等購入事業経費にかかる補正予算の専決処分について、町長から決裁をいただいたという。町長から決裁をいただいた。

図 イオニアカードのイオン発生数の検証結果について、販売業者が示したイオン発生数と町が確認したイオン発生数は、それぞれいくらかであったか。また、イオンを周囲1.5m×2m飛散させる仕組みについては、永野課長 カールドから発生するイオン数は、販売業者からは1立方センチメートル当たり1580個、町が測定した数値は1600個×1800個を確認している。イオンを周囲1.5m×2m発生させる仕組みは、製品開発における重要機密事項であり、町も把握することができない。

図 町は消費者庁がサルーテ・ラボ株式会社(以後、サルーテ社)に対し、措置命令をしたことをいつ、どのような方法で知ったのか。また、消費者庁がサルーテ社に対し、課徴金納付命令を行った経緯とサルーテ社の対応は、永野課長 措置命令に至る経緯は、以前議会全員協議会で報告している。課徴金1559万円の支払い命令がなされ、現在サルーテ社は課徴金納付に向けた準備を行っている。

図 令和3年1月15日付でサルーテ社から町長宛に届いた連絡文書の中に、消費者庁の担当職員より「イオニアカード」からイオンが発生していないと発言があったと記述されている。このことで、町はこの事実関係を調査し議会に報告しなかったのはなぜか。永野課長 今回の措置命令は、ウェブサイト上の表示の問題であり、物品の効果、性能に処分を受けたいのではないと認識しており、消費者庁担当職員の見解については問題ないと考えている。

図 昨年の12月定例会で、町長は若者対策での優先順位の1番目は教育と答弁している。給食費の半額補助を実施するためには、約1100万円の追加財源が必要とのことだが、実現可能ではないか。村上教務課長 給食費の半額補助については、今年の3月定例会、6月定例会で答弁した時の考え方に変わりはない。

図 輸入小麦を使用した食パンから発がん性の指摘があるグリホサートが検出されている。子どもたちに安全な給食パンの提供が望まれると思うが、その考えは。村上課長 小中学校とも週一回程度、輸入小麦を使用した給食パンを提供しており、発注先は公益財団法人福岡県学校給食会になる。輸入小麦を使用した食パンから除草剤の成分グリホサートが検出されていることは承知しているが、食品衛生法の基準などに適合した小麦のみ輸入しており、学校給食会も独自に抜き打ちで検査を実施し、食品衛生法上問題ないと認識している。また、毎回ではないが、町も県産小麦50%使用のパンや米粉パンを提供しており、現段階では全てを国産小麦や米粉を使用したパンに切り替える考えはない。



▶感染予防を志す給食風景



▶芝が張り替えられた屋根

図 南吉富放課後児童クラブ館について 園田子ども未来課長 芝が枯れた原因は、現時点では管理方法や設計、施工の問題ではない。芝の張り替えは、1年間の保証の中で施工業者が張り替えを行うようになってきている。今後、管理業者と協議しながらより良い管理を行っていききたい。

図 南吉富放課後児童クラブ館の屋根に植えている芝の一部が枯れているが、枯れた原因は設計、施工のいずれによるものか。今後、芝の張り替え計画はどのような考えか。園田子ども未来課長 芝が枯れた原因は、現時点では管理方法や設計、施工の問題ではない。芝の張り替えは、1年間の保証の中で施工業者が張り替えを行うようになってきている。今後、管理業者と協議しながらより良い管理を行っていききたい。